

『わたしにしたがってきなさい』の活動

家庭の夕べで、聖文研究で、そしてただ楽しみたいときにも!

モーサヤ4-6章

主の足跡をたどろう

モーサヤ王はいましめを守り、「主の道を歩み」(モーサヤ6:6)しました。紙に足の形をなぞり、切り取ります。足型に、あなたがイエス様にしたがうことのできる方法を書いてください。イエス・キリストのもはんにしたがうことを思い出せる場所に足型を置きましょう。

年少の子供には:

散歩に行きましょう。子供に、あなたがふんだ場所をふんでいく練習をしてもらいます。人々を助ける、バプテスマを受けるなど、主がなさったことを行うことによってイエス・キリストにしたがう方法について話します。



モーサヤ7-10章

預言者にしたがおう

アンモンは、預言者はこれから起こることを見ることができると教えました(モーサヤ8:16-17 参照)。2ページを開き、総大会でのネルソン大管長のメッセージを読んでください。預言者はわたしたちにどんなことを教えていますか? その絵をかいて、「フレンド」に送ってください。

年少の子供には:

子供たちと一緒に「預言者にしたがおう」(『子供之歌集』58-59)を歌いましょう。預言者という言葉を読んだら、預言者の写真を指さします。



モーサヤ11-17章

暗闇の中の光

アビナダイは、イエス・キリストは「決して暗くなることのない無窮の光」(モーサヤ16:9)であられると教えました。家の中に物をかくしてください。明かりを消して、暗闇の中で物を見つけてみてください。次に、また物をかくし、明かりをつけて、あるいは懐中電灯を使って物をさがしてみます。どちらが簡単でしたか。光が助けになったように、イエス様はどのようにわたしたちを助けてくださるでしょうか。

年少の子供には:

子供に懐中電灯やランプのスイッチをつけたり消したりする練習をしてもらいます。その後、イエス・キリストがどうして決してかくされることも消されることもない光であられるのかについて話します。



モーサヤ18-24章

結ばれた心

アルマはわたしたちに、「愛し合って結ばれた心を持つ」(モーサヤ18:21)ようにと教えました。つまり、ともに働き、人々に愛をしめすべきであるということです。そのことを思い出せるように、ハートのひもを作りましょう! 紙でハートの形を切り取り、それぞれに家族の名前を書きます。それぞれのハートにあなをあけてひもを通し、ハートをつなげます。よく目につく所に、ハートのひもをかけましょう。

年少の子供には:

子供に、家族の一人一人について好きなところを一つたずねます。ほかの人に愛をしめすために子供がしていることを話してください!